



# 園長だより

NO.7 198.6.1 (now)

ある先生からの反省の中に、こんなコメントが……

帰りの会前に私に語り  
掛けてくれていた子が「いまはこれ  
それを見た ○○ちゃんが、  
「お友達終わってからお話する  
のはどう？」と声を掛けてく  
れまして、頭ごなしに注意  
するのではなく、考えて優しい  
言葉を選んで伝えてくれた  
事がマジに嬉しかったんです。

子ども達の心って、本当に真、白なんぞ  
すね〜！そして、逆に子ども達から  
教えられます。ついつい慌しい  
日常ですと、「後にして…」とか  
「ちょっと待ってて」のひと言になりがち  
では……。その子の行為をまず受け  
入れた上で、柔らかに包み込んで、次の  
提案を即座に考案し提供出来る  
優しさ、温かさ、極上ですわね！！

結果、その子も先生の方をチラッと気まずそうに見て、自身の  
仕度をやり始めてくれたそうです。日々の中でやはり大人である  
私達がどう子どもと相対しているか、どんな会話をしているか。

受けとった言葉のひとひとを子どもは吸収し、その子自身の  
言葉になっていくわけですから、常に大人の私達の一挙一動はお手本で  
あり、鏡なんですよ。「言葉」「会話」に、いかに心を込められるか  
上記の子のひと言が教えてくれました！！

